

大女子き♡ くすの木さん



NO. 1

東大淀小学校
新聞クラブ
指導 中北好美

4年生がしらべました!

くすのきさんの大きさは?

5月21日、4年生17人が「くすのきさん」について4つのことを学習しました。

まず、くすのきさんの日本での正式な名前は、「カタカナで「クスノキ」だと教室で教えてもらいました。

次に運動場に出て、くすのきさんの幹まわりの太さと高さを調べました。最初に「両手を広げた長さは自分の身長」という身体尺の考え方で5人が



高さを測る講師の半田俊彦さんと宮本秀明さん

さんをかこんで測り、次にメジャーで測った。だいたい6メートルということがわかりました。半田さんによると幹まわりが3メートル以上の木は巨樹なので、くすのきさんはりっぱな巨樹だということになりました。高さは巨木のものさしを2つ使って測りましたが、まだ足りない1メートルを足した結果、だいたい15メートルでした。

身体尺で、くすのきさんの幹のまわりを測る4年生。



花の咲く時期は10月と思っている人が多かったのですが、実際に見てみると白と黄色のブロッコリーのような花が咲いていて、5月だとわかりました。くすのきさんについて「今度は実がどうやってできていくか知りたい。」と話している人もいました。(はる・そら)

自然を守る アクティフ・レンジャー

半田俊彦さん(としレンジャー)は、国立公園の自然を守る働きょう省のアクティブ

よじのぼったりとびおりたい!

昔のくすのきさん

山本勇さんと時子さんに、子どもころのくすのきさんについて聞きました。昔のくすのきさんは根っこがむき出しになって、子どもたちが幹をよじのぼったりとびおたりして遊んだそうです。「枝や葉も今よりしげっていたよ。」と話していました。アオムシ(アオシジゲへの幼虫)も多かったようです。

幹の皮が今はザラザラですが、昔はツルツルしていたそうです。そのわけについて



レンジャー 伊勢志摩国立公園では4人しかレンジャーがいないそうです。それでぼくたちにも自然を守る仲間になってほしいと話していました。(はる・そら)



山本さんたちから、子どもころのくすのきさんのお話を聞く。

感想

○人にインタビューするのはむずかしいと感じました。早くなれていきたいです。(ゆき) ○記事を書くのがむずかしかったです。(あんな) ○PCより山本さんに直接聞くと、もっとよくわかりました。(はる) ○くすのきさんによじのぼるのを、ぼくもやってみたいです。(そら)